

# 徳地森の子くらぶ ～ポン太の森で幸福を呼び込もう～

平成31年2月2日(土)～3日(日)

## 【目的】

自然体験活動を通して自然に親しむ態度や豊かな情操を育むとともに、集団での宿泊体験を通して自立心や望ましい生活習慣を身に付ける素地を養う。また、本事業を実施し、参加者とその保護者の自然体験についての興味や関心が高まることで、体験活動の普及を推進する。

【参加者】 55名(小学校3・4年生)、法人ボランティア10名

## 【プログラムの内容】

### 1日目

- 11:10 始まりの会
- 11:30 みんなであそぼう!(アイスブレイク)
- 12:15 お弁当タイム
- 13:30 ポン太の森の冒険隊(ネイチャービンゴ)
- 19:00 ナイトウォーク

### 2日目

- 9:00 室内遊び
- 10:00 アウトドアクッキング(ホットドッグ・焼き芋)
- 13:20 さよならの会
- 14:00 バス乗車/終了

## 「始まりの会」

### 「みんなで遊ぼう!(アイスブレイク)」

今回の年始に開催となった森の子くらぶには、60名以上の申込みがあった。キャンプには、55名の小学3・4年生が参加した。アクティビティの中で、グループで自己紹介を行ったり、お互いに話しあったりした。この活動を通して、最初児童間やボランティアとの間にあった緊張がほぐれていった様子であった。



### 「ポン太の森の冒険隊(ネイチャービンゴ)」

「大丈夫」、「ありがとう」、「一緒にやろう」などのふわふわ言葉が使われる場面がたくさん見られた。

クラフト活動においてミノムシくんを作成した二人一組で互いに言葉がけをしながら作業を進めることができた。グループの仲間と一生懸命活動して、すべてのグループがミッションクリアへ向かった。



## 「ナイトウォーク」

天体観察棟付近まで夜暗い道を散策した。森の中で、昼間との違いを感じることができた。また、懐中電灯を消して真っ暗な状況を作り出し、上を見上げた。冬の澄み渡った空気の中星空を見て、子供たちの「わー!」「すごーい!」「きれい!」という歓声があがった。活動部屋に帰ってからきれいだったと余韻に浸るほどの感動があった。

## 「室内遊び」

室内遊びドッチビー大会を行い、グループごとに分かれて対戦することができた。この日初めて会った仲間とも声を掛け合い、白熱した試合展開となった。



## 「アウトドアクッキング」 (ホットドッグ・焼き芋)

前日に薪係、調理係と役割を決めて、その役割に沿って活動を進めた。そのため与えられた役割を、一生懸命果たそうとする児童の姿が見られた。

また、仲間が困難な状況にあるとき、自分の役割だけではなく、仲間の事も考えて、お互いに声を掛け合い協力する姿が見られた。片付けにおいても自分たちの片付けを早く終えた後、会場全体の片付けへと自主的に取り組む姿を見せる班があった。



## 【参加者の声】

「ホットドッグと焼き芋をみんなで協力して食べることができて、おいしかった」、「初めて会う人が多かったけど、いっぱい友達が出来た。」、「ミノムシくん難しかったができてうれしかった」、「みんなと遊んだり、食事を作ることができて楽しかった。」、「ナイトウォークのとき、星がすごくきれいだった。」などの感想をいただいた。

## 【成果】

今回の森の子くらぶでは、何回も参加している人の姿が見られた。そのため、「ポン太の森の冒険隊(ネイチャービンゴ)」ではビンゴのシートをこの季節で観察できるものに変えた。森の子くらぶに何回も来ている参加者も新鮮な気持ちで活動に参加することができていた。また、活動を通して仲間の特性を活かし、解決していく姿をみることができた。

## 【課題】

準備において、ワークシート等を季節にあったものにするときに、自分の知識のなさが課題となった。